

# 野生動物と 共に生きる 未来

平成31年  
2月9日(土)  
13:00-16:30  
(12:00受付開始)

兵庫県公館

神戸市営地下鉄  
県庁前駅

～ 持続可能な  
野生動物管理システムの  
構築をめざして～



# 野生動物と共に生きる未来

～持続可能な野生動物管理システムの構築をめざして～

|開催日時| 平成31年2月9日(土)

13:00-16:30 (12:00 受付開始)

|開催場所|

## 兵庫県公館

(神戸市中央区下山手通4丁目4番1号  
神戸市営地下鉄県庁前駅)

|参加費|

無料  
(要事前申し込み、定員350名)

|申込方法|

申し込み専用QRコード  
兵庫県森林動物研究センターHP  
(<http://www.wmi-hyogo.jp>)



|開催趣旨|

ニホンジカやイノシシなど急増する野生動物による農林業、生態系、生活環境への被害が深刻化しています。その一方で、人間社会は、大都市圏への人口集中と地方の人口縮小が急速に進み、人と野生動物との共存の在り方を見直す転換点を迎えています。日本学術会議では、課題別委員会を設置し、野生動物管理をめぐる問題を多様な学術の視点から分析・検討を行ってきました。本シンポジウムでは、これまでの審議内容を紹介すると共に、参加者の皆さまと活発な意見交換を行います。

|プログラム|

開会挨拶

山極 壽一 (日本学術会議会長・京都大学総長)  
兵庫県

来賓挨拶

鳥居 敏男 (環境省大臣官房審議官)

委員会報告

「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」の審議と提案の骨子  
鷺谷いづみ (日本学術会議課題別委員会委員長・中央大学教授)

講演

- 1) 野生動物管理学からみた現状と課題：日本型管理システムの構築に向けて  
梶 光一 (日本学術会議特任連携会員・兵庫県森林動物研究センター所長・東京農工大学教授)
- 2) 兵庫県における野生動物管理システム  
横山 真弓 (日本学術会議特任連携会員・兵庫県立大学教授・兵庫県森林動物研究センター研究部長)
- 3) 市町村単位での野生動物管理の状況と課題  
山端 直人 (兵庫県立大学教授・兵庫県森林動物研究センター主任研究員)

リレートーク&討論 「科学的野生動物管理へ：学術からの展望」

コーディネータ 湯本 貴和 (日本学術会議特任連携会員・京都大学霊長類研究所所長)

コメント

林 良博 (兵庫県森林動物研究センター研究統括監・国立科学博物館館長)

閉会挨拶

太田 勲 (兵庫県立大学学長)

|主催| 日本学術会議課題別委員会「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」

|共催| 兵庫県・兵庫県立大学 |後援| 環境省・農林水産省・日本生態学会・日本哺乳類学会・「野生生物と社会」学会  
(独)環境再生保全機構「平成30年度環境研究総合推進費4-1704 異質環境下におけるシカ・イノシシの個体数推定モデルと持続可能な管理システムの開発」支援事業

|お問い合わせ| 兵庫県森林動物研究センター (TEL:0795-80-5500)